

日時：2026年1月1日

日本ポーラログラフ学会（The Polarographic Society of Japan）

富永昌人教授が2026年1月1日から日本ポーラログラフ学会の第15代会長を2年間の任期務めます。

日本ポーラログラフ学会は、界面電荷移動の基礎研究をベースとした、電気分析化学・解析電気化学の学会です。現在では、滴下水銀電極のポーラログラフィーを用いての研究はありませんが、その発展形であるボルタンメトリー等、各種電気化学測定にかかわる研究者が約200名参加しています。

本学会は、昭和28年（1953年）に社団法人電気化学協会（現 電気化学会）に設置されたポーラログラフ委員会を母体としており、電気化学協会の了承を得て昭和35年（1960年）に発会しました。1953年から学会誌「Review of Polarography」を創刊しており、海外の図書館に発送されていました。（30年近くになりますが、留学先のアメリカの大学図書館でReview of Polarographyを見つけました）